

政務活動費 活動実績報告書

令和 4 年 10 月 7 日

橋本 正敏

件名	企業誘致、町おこしと空き家対策について
使途	① 調査研究費 2 研修費 5 要請・陳情活動費
金額	円
期日	令和 4 年 9 月 28 日（水）～令和 4 年 9 月 30 日（金）
場所	1、徳島県美波町 2、岡山県倉敷市 3、岡山県美咲町
目的	1、サテライトオフィス誘致、林業活性化と町おこしについて 2、学制服基幹産業からジーンズストリート産業変革が行われた経緯について 3、お試し暮らし住宅事業について
参加者	議員：萩尾洋、服部良一、高山正信
概要	1、サテライトオフィス誘致、林業活性化と町おこしについて 9 月 28 日 対応者：美波町産業振興課 鍛冶淳也課長補佐、株式会社あわえ代表取締役 吉田基晴社長 他 ・2003 年、情報漏洩・サイバーセキュリティ対策の「サイファー・テック株式会社」を東京に設立したが、社員の採用に苦労した。社員の採用力強化のため 2012 年に過疎地の徳島県美波町にサテライトオフィスを設立。「職・住・游」を満たす生き方と「半 X 半 IT」の働き方を提唱。東京ではできない暮らし方を実現。空き家を利活用し、若者が起業。現在、25 社が美波町に進出している。 ・海部郡美波町、牟岐町 日和佐川、牟岐川各流域は、2017 年に日本森林学会から「海部の樵木（こりき）林業」として「森林遺産」に選定された。樵木林業とは、昭和 40 年代頃まで地域内で行われていた常緑広葉樹（カシ、シイ、ウバメガシ、ツバキ等）の萌芽力を活かした択伐矮林更新法と呼ばれる非皆伐施業のことで、集材方式は斜面に幅 1～1.5 メートルの皆伐帯（やり）を約 3 メートル間隔に魚骨状に設置し、これを搬出路として「やり」と「やり」の間を伐採する。切り出した木材は、高級備長炭や薪ストーブの燃料として加工販売している。 2、学制服基幹産業からジーンズストリート産業変革が行われた経緯について 9 月 29 日 対応者：児島商工会議所経営支援課 末佐俊治係長、同総務課 小松原達也主任 ・江戸時代に児島湾を中心とする干拓事業が始まり、塩分に強い綿花の栽培が始まる。金毘羅山・由加山の参拝土産に真田紐・小倉織等の織物業が発展する。明治時代に帆布・足袋・韓人紐等の製造や学生服の製造が始まる。大正時代に、光輝畳縁の製造が盛んとなる。昭和になり学生服の製造が盛んとなるが次第に合成繊維学生服に押され、児島の企業

	は「ジーンズ」生産に活路を見出す。平成になるとこれまでの綿花栽培の技術、綿織物、裁断・縫製の伝統技術と国産ジーンズ発祥の地というブランドを融合させ発展を目指す。 「ジーンズミュージアム」の開設をはじめ、空き家が並ぶシャッター通りをジーンズ関連ショップに誘致したて「児島ジーンズストリート」として再生・発展させている。現在 43 のジーンズ関連店舗が出店している。このほか、バス・タクシー、駅構内、トイレ、レンタサイクル等にジーンズの装飾をするなど児島産地全体でまちづくりを進めている。 3、お試し暮らし住宅事業について 9月29日 対応者：美岬町 青野高陽町長、同地域みらい課 光嶋寛昌課長、美咲町議会 松島啓議長、同事務局 水島寛之事務局長、地域おこし協力隊 大橋佳奈 ・空き家の利活用推進と町への移住・定住人口の増加を図るため「美咲町空き家等バンク」を設置、このうち1件を買収後、内外装改修し「お試し暮らし住宅」として移住希望者に、最短2日間、最長14日間の移住体験を可能とした事業。
所感	1、サテライトオフィス誘致、林業活性化と町おこしについて ・若い世代は都会の大企業就職を目指すことが上等とされているが、現実には雑多な空間とあわただしい通勤と仕事の繰り返しで自分時間がほとんどない生活を送っている。地方で起業することで通勤時間短縮、静かな空間での集中した仕事、余暇時間を利用した自分時間の獲得など都会ではできない理想の生き方といえる。受け入れる過疎地域にとっては、若者の移住による人口増加、地域の活性化につながり、さらなるチャレンジ創出が期待できる。八女市には、南仙荘に拠点があり、さらなる誘致を期待するとともに八女市内の若者の起業にチャレンジする意識の改革を今後の課題としてさらに研究していきたい。 ・本市には伐採適期を迎えたスギ・ヒノキが多数あり、これを木材として切り出すことが課題とされているが、木材の需要や自然災害等に問題を抱えている。針葉樹とともに雑木林の広葉樹を切り出し、炭や薪として加工販売することに目を広げてはどうだろうか。林業振興、森林環境保全、地域の活性化のため視点を変えるのもよいのではないか。 2、学制服基幹産業からジーンズストリート産業変革が行われた経緯について ・児島市のジーンズを活かした取り組みは、地域の特産物と伝統的技術、そして確たる自信を持つ商品のさらなる革新的挑戦である。本市には伝統的建物保存地区があり、高技術の伝統産物・高品質の農産物等があるが、時代にマッチした、あるいは時代を先取りする革新的な挑戦があるだろうか。今一度本市の魅力を外から目線で見直し、新しい表現法を作り出さなければいけないのではないか。 3、お試し暮らし住宅事業について ・空き家の利活用は、多くの自治体において大きな課題である。本市には、空き家バンク事業があり移住者に利活用されているが、今後更なる増加が予想される空き家対策は十分であろうか。人が住まなくなった住宅は、意外と早く老朽化が進む。いかに早く空き家バンクに登録してもらえるか、そしてスムーズな移住が課題である。多くの物件でトイレと水回りで二の足を踏まれるようである。下水道が来ていないところでは、浄化槽の設置により多くの補助をすることで移住のハードルを下げたい。また、実際に移住希望の住宅にお試し体験ができるならなおさらスムーズな移住ができるのではないだろうか。